

神戸大学ブリュッセルオフィスの開設について

▽ 国立大学法人神戸大学
(2010年8月25日)

神戸大学はベルギー・ブリュッセルに、新しい形の教育研究拠点である「神戸大学ブリュッセルオフィス」を設置することになり、9月3日、現地で開所式を催します。

ブリュッセルは、欧州委員会本部など欧州諸機関および欧州各国・諸地域・団体の大使館、代表部、オフィスが集積する「欧州の首都」であり、教育研究の分野においても重要性を増しています。神戸大学ブリュッセルオフィスは、このブリュッセルにおける我が国の国立大学最初の拠点となるだけでなく、教育研究成果を主体的に発信し、人文・人間科学、社会科学、自然科学、生命・医学の各系列において、欧州の諸大学・研究機関との国際連携による教育研究の推進に寄与するという、これまでの我が国の大学の海外オフィスでは難しかった活動を行っていきます。

設置の経緯と背景

(1) 神戸大学は我が国の他の大学に先駆け、統合が進む欧州に対応する教育研究の取り組みを、大学全体として進めてきました。2003年に、総合シンポジウム「神戸大学 EU ウィーク」を実施。さらに2005年には、欧州連合の行政機関である欧州委員会の資金援助を受けて設立された EUIJ 関西の幹事校になり、国際シンポジウムや講演会、ワークショップ、EUに関する教育プログラムを実施してきました。

こうした実績が評価され、今年4月、日・EU首脳協議のため来日したヴァン・ロンプイ欧州理事会議長(EU大統領)は協議に先立ち、本学で講演されました。ブリュッセルオフィス開設に際しても、同議長は開所式のためブリュッセルを訪れる福田秀樹学長と懇談する予定になっています。

福田学長はまた、欧州委員会の Robert-Jan Smits 研究総局長や、Jordi Curell 教育文化総局高等教育局長とも面談する予定です。

(2) ベルギーの諸大学は、欧州における国際連携による教育研究で先駆的な役割を果たしています。神戸大学はこうした大学と、エラスムス・ムンドゥス(※)や経済学修士・日本学修士のダブル・ディグリー・プログラムなどで、協力関係を築いてきました。

開所式には、蘭語系・仏語系のルーヴァン・カトリック大学、ブリュッセル自由大学など、ベルギーの主要6大学の学長らに参加していただきます。

(3) 神戸大学ブリュッセルオフィス開設にあたっては、駐ベルギー日本国大使館、欧州連合日本政府代表部、駐日欧州連合代表部、駐日ベルギー大使館などの支援を受けています。ベルギーはもちろん、欧州全体と教育研究の連携を推進するだけでなく、ベルギー日本人会、BJA(日本ベルギー商工会議所)、JETROとも共同して、日欧をまたぐ社会貢献、産学連携にも活動範囲を広げていくことが期待されています。

開所式には、駐ベルギー日本国特命全権大使、欧州連合日本政府代表部参事官らにも参加していただくことになっています。

※エラスムス・ムンドゥス 欧州を中心とした大学がコンソーシアムを組んで行う、大学院若手研究者のための国際教育プログラム

以上